

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード 681511)

※校園コードを入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 古市小学校

学校関係者による評価実施済

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 1,400,000 円 → 決算額 1,269,149 円

2 配付上限額

学校配当	学級数	特別支援学級数	学級配当
350,000	+ 13学級	+ 8学級	× 50,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額	= 1,400,000
-------	---

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

<全市共通目標>

- ①平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ②平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も1ポイント減少させる。
- ③平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- ④平成31年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤平成31年度の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童（生徒）の割合を70%以上にする。
- ⑥平成31年度の校内調査において、学校が楽しい（どちらかといえば楽しい）と答える児童を80%以上にする。
- ⑦学習に対する興味・関心を高めるために、教科の学習に関連した体験学習を取り入れる。

<目標に対する達成状況(取組完了時)>

達成

- ①平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点が、同一母集団で比較し、前年度より向上していない教科も各学年で見られた。
- ②平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が、市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較して、5年生では1.5ポイント、6年生では1.1ポイント減少した。しかし、4年生では2.9ポイント増加した。
- ③平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が、市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較して、5年生では5.7ポイント増加した。しかし4年生では2ポイント、6年生では2.9ポイント減少した。
- ④平成31年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合が、前期と比べて85%→89%（低学年）76%→83%（高学年）に増加した。
- ⑤平成31年度の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合が75%（70%以上）になった。
- ⑥平成31年度の校内調査において、学校が楽しい（どちらかといえば楽しい）と答える児童を91%（80%以上）になった。
- ⑦教科横断的な取り組みとしては、低学年では生活科の観察カードにオノマトペや例えを使った表現を用いて書き表したり、道徳科でいいところ見つけかるたを作成して遊んだりした。中学年では、社会見学で学んだことを国語の学習と関連させて新聞づくりを行った。高学年では、理科や社会科、学級活動などで書く活動を取り入れるなど活用力の育成を行うことができた。

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

<p>⑤⑥⑦児童の自尊感情・他尊感情を高めるための手立てとして、自然体験学習、たてわり班活動、異学年交流や地域との交流を計画し実践する。「他者への奉仕（ボランティア活動）」「助け合い・学び合い」「いいところ見つけ」などの活動を各学年で取り組むとともに、芸術鑑賞会や、委員会活動で花を育てることを通して、豊かな心の育成を図る。</p> <p>①②③朝の学習や家庭学習を計画的に行い、基礎的・基本的事項の習得を図り、全学年共通テストにおいてその定着度をはかる。国語科で学んだ「書く」「読む」力を、他教科でも活用できるように教科横断的にカリキュラムを考え活用力の向上に取り組む。体験的な学習を取り入れ、学習に対する興味・関心を育む。</p> <p>④「書く力」「読む力」の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を行う。授業において対話に関する振り返りを行わせ、対話における学びの深まりを実感させる。</p>
--

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

<p>⑤⑥⑦生活指導連絡会の記録での指導者からの評価や、各アンケートや生活カードでの自己評価、児童同士の相互評価などにより達成状況の確認を行う。</p> <p>①②③全学年共通テストを実施し、平均正答率を75%以上にする。教科横断的な取り組みを全学年行い、掲示板などをを使って交流させる。3年生以上の学年で、体験的な学習を年に1回以上行う。</p> <p>④全教員が研究授業もしくは公開授業を年に1回行う。平成31年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加させる。</p>

<p>指標に対する達成状況(取組完了時)</p> <p>⑤⑥⑦自然体験学習、たてわり班活動、異学年交流や地域との交流を計画し実践したり、ボランティア活動や芸術鑑賞会等を実施した結果、校内調査等では、児童の自尊感情・他尊感情を高まりが見られた。</p> <p>①②③全学年共通テストは実施してきっていない。4.5年生のEXテストの平均正答率は75%を超えたが、学力経年調査での平均正答率は度の学年も75%に達しなかった。教科横断的な取り組みについては、全学年で保幼小連携接続の取り組みを実施し、ドキュメンテーションなどを使って交流することができた。また3年生以上の各学年で体験的な学習を年に1回以上行うことができた。その結果、校内調査等では、児童の学習に対する興味・関心に関する質問に対して肯定定な回答が増えている。</p> <p>④全教員が研究授業もしくは公開授業を年に1回行い、「書く力」「読む力」の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を行った結果、平成31年度の小学校学力経年調査（校内調査）における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童（生徒）の割合を、前年度より増加した。</p>	達成 A
--	--------------------

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・校外体験学習の実施	委員会使用欄	達成 A
--	--------	---------

①予算内訳
12-1 3年 くらしの今昔館見学交通費 @192×78=14, 976
09-5 3年 くらしの今昔館見学付添分交通費 @414×5=2, 075
12-1 4年 ゴミ焼却場見学交通費 @224×85=19, 040
09-5 4年 ゴミ焼却場見学付添交通費 @500×5=2, 500
12-1 5年 朝日新聞社見学交通費 @312×81=25, 272
09-5 5年 朝日新聞者見学付添交通費 @917×5=4, 585
12-1 6年 大阪国際平和センター見学交通費 @224×73=16, 352
09-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費 @504×5=2, 520

②決算内訳
12-1 3年 くらしの今昔館見学交通費 @192×75=14, 400
09-5 3年 くらしの今昔館見学下見交通費 @460×1=460
09-5 3年 くらしの今昔館見学付添分交通費 @510×1=510
12-1 4年 ゴミ焼却場見学交通費 @414×3=1, 242
09-5 4年 ゴミ焼却場見学下見交通費 @418×1=418
12-1 4年 ゴミ焼却場見学付添交通費 @224×79=17, 696
09-5 4年 ゴミ焼却場見学下見交通費 @600×2=1, 200
09-5 4年 ゴミ焼却場見学付添交通費 @504×2=1, 008
12-1 5年 朝日新聞社見学交通費 @506×1=506
09-5 5年 朝日新聞社見学下見交通費 @290×77=22, 330
09-5 5年 朝日新聞者見学下見交通費 @550×1=550
09-5 5年 朝日新聞者見学付添交通費 @700×1=700
12-1 6年 大阪国際平和センター見学交通費 @582×1=582
09-5 6年 大阪国際平和センター見学下見交通費 @574×2=1, 148
09-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費 @190×1=190
12-1 6年 大阪国際平和センター見学交通費 @200×67=13, 400
09-5 6年 大阪国際平和センター見学下見交通費 @420×1=420
09-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費 @440×1=440
09-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費 @252×1=252
09-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費 @420×1=420
09-5 6年 大阪国際平和センター見学付添交通費 @428×1=428

(2)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・校内体験の実施	委員会使用欄	達成 A
--	--------	---------

①予算内訳
11-1 3年 昔のくらしの体験用 餅20個 1kg @1, 000×6=6, 000
11-1 3年 昔のくらしの体験用 きな粉 100g @300×2=600
11-1 3年 昔のくらしの体験用 上白糖 1kg @200×2=400
11-1 3年 昔のくらしの体験用 煎り大豆 85g @200×3=600
11-1 3年 昔のくらしの体験用 割り箸 60膳 @500×2=1, 000
11-1 3年 昔のくらしの体験用 紙コップ 50個 @300×2=900

②決算内訳
11-1 3年 昔のくらしの体験用 餅20個 1kg @598×5=2, 990
11-1 3年 昔のくらしの体験用 きな粉 100g @122×2=244
11-1 3年 昔のくらしの体験用 上白糖 1kg @238×1=238
11-1 3年 昔のくらしの体験用 煎り大豆 60g @100×3=300
11-1 消費税 @301×1=301
11-1 3年 昔のくらしの体験用 割り箸 60膳 @110×2=220
11-1 3年 昔のくらしの体験用 紙コップ 50個 @110×3=330

(3)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・公開授業の実施 ・研修会の実施	委員会使用欄	達成 A
①予算内訳 8-1 公開授業講師謝礼 $7,100 \times 2h = 14,200$ 8-1 3年外国人教育研修会講師謝礼 $4,300 \times 1:45 = 8,600$		
②決算内訳 8-1 公開授業講師謝礼 $7,100 \times 2h + 360 = 14,560$ 8-1 3年外国人教育研修会講師謝礼 $4,300 \times 1:75 = 7,500$		

(4)取組内容【施策番号 施策名】 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・お話会の実施 ・芸術鑑賞の実施	委員会使用欄	達成 A
①予算内訳 8-1 お話会講師謝礼 $4,300 \times 2h = 8,600$ 13 芸術鑑賞 $@300,000 \times 1 = 300,000$		
②決算内訳 8-1 お話会講師謝礼 $4,300 \times 2h = 8,600$ 13 芸術鑑賞 $@250,000 \times 1 = 250,000$		

(5)取組内容【施策番号 施策名】 【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ・運動環境の整備 ・スポーツテストの実施	委員会使用欄	達成 B
①予算内訳 18 屋内外兼用エバーマット $200 \times 400 \times 30cm = 239,540$ $\times 1 = 239,540$ 18 デジタル握力系 $@16,000 \times 2 = 32,000$		
②決算内訳 18-2 屋内外兼用エバーマット $200 \times 400 \times 30cm = 164,160$ $\times 1 = 164,160$ 11-1 デジタル握力系 $@14,472 \times 2 = 28,944$ 11-1 ステップカラーラバーリング $@5,184 \times 3 = 15,552$		

(6)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・朝の学習、全学年共通テストの実施	委員会使用欄	達成 A
①予算内訳 18-3 学習プリント代（国語科） $@3,000 \times 6 = 18,000$ 18-3 学習プリント代（算数科） $@3,000 \times 6 = 18,000$		
②決算内訳 11-1 製版用原紙（1箱2本入） $@16,060 \times 2 = 32,120$ 11-1 印刷機用インク（1箱6本入） $@19,250 \times 1 = 19,250$ 11-1 印刷機用インク（1箱2本入） $@6380 \times 7 = 44,660$ 11-1 発表ボード $@10,920 \times 5 = 54,600$ 11-1 おはじき $@7,300 \times 1 = 7,300$ 11-1 1000までの数 $@16,280 \times 2 = 32,560$		

(7)取組内容【施策番号 施策名】

委員会使用欄

達成

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- ・少人数学習の実施

B

①予算内訳

他 学びのサポーター	報奨金	@1,000×570=570,000
他 学びのサポーター	交通費	@480×114=54,720
他 学びのサポーター	傷害保険料	@800×1=800
他 学びのサポーター	研修費用 3回×1=3	@3,000×3=9,000

②決算内訳

他 学びのサポーター	報奨金	@1,000×455=455,000
他 学びのサポーター	交通費	@460×97=44,620
他 学びのサポーター	傷害保険料	@800×1=800
他 学びのサポーター	研修費用 3回×1=3	@3,000×2=6,000